



庄司 紘八  
(市民の声)

### 藤山踏切の拡幅

**質** この度の議会に「工事に伴う測量設計委託費」が提案されている。これでいよいよ動き出すと思うが、その見通しを、より具体的に示していただきたい。

**答** 今年度は市道藤山線改良の測量及び実施設計するとともに、JR東日本秋田支社で積算している踏切拡幅の事業費とあわせて全体事業費を算出する。財源は地域活力基盤創造交付金と合併特例債の活用を予定していることから、22年度に交付金の要望、23年度に工事着手し、年度内の完成を目指したい。

### 能代市の文化行政

**質** 導入部分は公民館で学習してもらい、自主学習グループになったら芸文協に所属して、さらに研鑽を積んでも活動していただくなど、行政として芸文協と協議したらいかがか。

**答** 本市は生活文化の振興、社会教育の推進のため、施設使用料の減額等、自主学習グループの活動を積極的に支援している。今後はアンケート調査等で自主学習グループの意向を確認し、能代市芸術文化協会と懇談の場を設け、意見等交換をしながら、芸術文化の振興に向け、さまざまな課題について話し合っていきたい。

#### その他の質問事項

- ・能代駅前からの交通対策
- ・まちづくり会議や各種会議
- ・東能代駅前駐車場



菊地 時子  
(日本共産党)

### 介護保険に社会福祉実践の視点で対応を

**質** 介護の現場は、高齢者の尊厳を大切にしたいという初心を生かすための労働環境になつていないければならない。介護従事者の安定確保と専門職としての位置づけへの対応は。

**答** 労働環境については介護保険事業所の指定に当たり基準を満たしているほか、定期的に指導監査を行い、改善事項について指導している。また新設された交付金制度により介護職員の賃金改善が図られるものと期待している。長寿社会振興財団が実施する介護従事者研修等を活用して専門性の向上を図ってもらいたい。

### 住宅リフォーム助成制度

**質** リフォームへの助成は、補助金額に対し、対象工費額が20倍以上になるなど幅広い業種に大きな波及効果をもたらしている。地域経済への波及効果が大きい事業の実施を。

**答** 住宅リフォームに対する助成制度はないが、要介護高齢者の生活支援を目的とした改修や木造住宅の耐震改修等に対しての助成制度はある。県内では横手市が実施しているが、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源としており、今後、同様の財政措置がなされれば、市の財政状況等を踏まえ、検討したい。

#### その他の質問事項

- ・新要介護認定の状況
- ・国保一部負担金減免の積極的活用
- ・無料低額診療事業への取り組み



原田 悦子  
(よねしろ会)

### 政権交代による今後の交渉

**質** 農家への戸別所得補償や地域医療を支えている社会保険病院の存続など新政権の政策が議論される。交渉をどう築くか。

**答** 能代をよくするために国に対してお願いすべきことはお願いし、申し上げるべきことは申し上げていくことを政権交代を理由に変えるつもりはない。民主党は地方の陳情の窓口として地方版国家戦略局を設置する取組みを始めているが、こうした動向を見ながら自治体がルールに従うことは当然であると考えている。

### 入札制度

**質** 議員政治倫理条例は自治法との抵触論議を避けるため市工事の請負や物品購入契約等は締結辞退の努力規定にしたが限界がある。市は議員の関係私企業に入札参加資格を認めない規制はできないか。

**答** 一般競争入札の参加資格は、地方自治法に基づいており、これ以外に地方公共団体が独自に欠格要件を増加することはできない。また議員に対する請負の制限を規定しているが、議員の資格に関する問題であり議会が決定することとされている。したがって地方自治法以上の規制を課すことはできないと考えている。

#### その他の質問事項

- ・まちかどミーティングの成果内容と総合計画
- ・特別養護老人ホームの今後の構想
- ・能代産業廃棄物処理センター